

2026年

2月

南風

ふれあい南伊豆ホスピタル

第270号

● 当院では、患者様が地域で安心して暮らしていただける為の支援をすすめています ●

編集・発行 医療法人社団 辰五会 ふれあい南伊豆ホスピタル 〒 415-0151 賀茂郡南伊豆町青市 848 TEL 0558-62-1461 FAX 0558-62-0510

認知症治療病棟のリハビリテーションの紹介

◆ 認知症治療病棟とは

精神保健福祉法に基づき、認知症を抱える高齢者の方々へ専門的な入院治療を提供する病棟です。

- ① 在宅・介護が困難な方
- ② 精神症状が薬物療法で改善しない方
- ③ 夜中の徘徊や物忘れ等が改善しない方 …などを対象に、

日常生活や行動面で大きな支障が生じ、ご自宅や施設でのケアが困難になった方を対象としています。

◆ 病棟の役割と治療方針



認知症治療病棟の最大の役割は、集中的な精神科治療と手厚い支援を提供することです。物忘れや混乱、また、物事をスムーズに行えないことから生じる精神的な落ち込みや不安定な状態を、安全な入院環境の下で改善に導くことを目指しています。私たちスタッフは、患者様ひとりひとりの症状の進み具合に合わせて個別の治療計画を丁寧に立案し、その方に最大限寄り添った支援を展開しています。日常生活のケアは主に看護や介護の職員が行っていますが、この病棟では作業療法士も専属スタッフとして加わり患者様のリハビリ活動の中心的役割を担っています。

◆ 認知症治療病棟でのリハビリテーション：パーソン・センタード・ケア

リハビリテーション活動では、患者様をひとりの大切な「人」として尊重し、その方の立場に立って考える「パーソン・センタード・ケア（その人を中心としたケア）」の理念に基づいて活動を展開しています。

重要なポイントとなるのは、認知症をもつ方の気持ち=心理的ニーズをよく理解することです。トム・キットウッドは、潜在的に抱えているニーズを、次のような花びら5枚の絵で表しています。



この5つが満たされていくと…

愛情という包括的なニーズが満たされる

周囲の人に尊重されていると感じる

心理的に落ち着いたよい状態になる

…とされています。



◆ 作業療法 (OT) の目的



- 軽度の場合 … 本人の自尊心を傷つけることなく、自己効力感や成功体験が持てるように配慮した作業活動を提供していきます。
- 中等度の場合 … 本人の持っている力、本人の強みを支援していきます。
- 重度の場合 … 活動している場に「居ること」、そこで部分的にでも「できること」を見出しています。

作業療法では、日常生活におけるリズムを整え、認知機能の維持・改善を目指して、さまざまなレクリエーション活動を実施しています。傍から見ると「ただ楽しんでいるだけ」に見えるかもしれませんが、単調になりがちな入院生活の中で患者様が自ら楽しみを見つけ出すのは容易ではありません。そこで作業療法が結果として機能の回復と維持に繋がっています。

1. 集団活動

月に一度、季節を感じられる行事を患者様と一緒に楽しみます。



2. 個別の活動

活動中、精神的に不安定になる患者様のそばへ行き、身体に優しく触れ、目を合わせて対話することで安心感を届けます。これは、「個別ケアから信頼に基づく対話へ」と発展させることを目指した大切な取り組みです。



文：5階病棟担当 作業療法士 寺川 由佳



力強く駆け抜ける一年に
なりますように

ふれあい南伊豆ホスピタル
☎0558-62-1461



2026年2月発行 Vol.270

【監修】山本 善治

【構成・編集】横田 晴輝

【デザイン】F&Y

【作業協力】支援センターふれあい

利用者の皆さん

ふれあい南伊豆ホスピタル

広報委員会

